

年代記にみる中世後期における南九州の地震

水野嶺(東京大学地震研究所/地震火山史料連携研究機構)

§1. はじめに

歴史事象を年代順に列挙した年代記と呼ばれる史料がある。中世・近世を通じて様々なものが作成され、日本各地に伝存しており、その年代記を古代・中世の災害史料として活用すべきとの指摘がある。

近年片桐昭彦氏が、年代記の史料学的検討を通じ、年代記の書誌情報を明らかにするとともに、年代記中の信頼に足る同時代史料部分の導出を精力的に行っている。また、矢田俊文氏は近世初頭の慶長八年(1603)に成立した『重撰和漢皇統編年合運図』は、近世中期以降成立の年代記作成に参看されていると指摘する。矢田氏の指摘から、近世に成立した年代記における『合運図』などと重複しない災害記述は、その年代記が記された地域における独自の災害記録の可能性があると考えられる。

そこで、本報告では南九州に伝わる四つの年代記をとりあげ、先行する年代記などとの比較を通じ、それぞれに記される地震の独自記録を抽出し、その中から特に地震事例について検討を加える。

§2. 南九州に残された四つの年代記

①都城島津邸蔵「都城島津家文書」所収『和朝年代記』は、日向国都城に伝存した年代記である。天神七代から寛文十年(1670)までの記事を載せる。成立は、後光明天皇を「今上皇帝」とすることから、寛永二十年(1643)から承応三年(1654)に、原形態が作成され、以後書き継がれ、享保二年(1717)に写本(=現存する『和朝年代記』)が作成された。日向国都城の神柱宮で作成された年代記と思しい。

②「入来院家文書」所収『日本帝皇年代記』は、山口隼正氏によって詳細な検討と紹介がされている。収載期間は、天神七代から寛永十九年に至り、筆跡をみると内題から元和九年(1623)記事まで、寛永元年以降の記事、外題の三種類が確認される。ここから山口氏は記載内容をふまえ、『帝皇年代記』を二部構成とし、元和九年までは薩摩国坊津一乗院による作成、寛永元年以降は年代記が伝存した入来院家の手によるとする。「今上」や「当將軍」の記述をみると、明応～文禄の所々に同時代的文言がみえ、十五世紀末以降近世への書き継ぎが想定される。

③「島津家文書」所収『年代記』は、天文十三年(1544)～慶長八年(1603)を収載する。薩摩国福昌寺関係の年代記と思しいも、詳細は不明。「旧記雑録」にも所収される。中央情勢に関わる記事はほとんどなく、災害記事も一例を除き独自記録となる。

④「島津家本」所収『宝光寺年代記』は、東京大学

史料編纂所所蔵の「島津家本」と呼ばれる、明治～昭和初期にかけて島津家編輯所が蒐集した史料に所収される。収載期間は古代から延宝六年(1678)で、第一次集成は十五世紀末から天文三年の間になされ、その後書き継がれたものと推定できる。先述した三年代記と異なり、室町前期から災害の独自記録が見られることに特徴がある。宝光寺は、大隅国田代郷に十四世紀末ころに創建された寺院である。

§3. 得られる地震事例

中央の年代記などと重複しない独自の地震記録として得られるのは、

元久二年六月十九日(1205/7/7)

文明十六年四月二十二日(1484/5/16)

天文十三年四月二十二日(1544/5/13)

天文十四年三月(1545/4/11)

永禄十二年四月五日(1569/4/21)

文禄元年正月十二・十四日(1592/2/24・26)

同年十月十六日(1592/11/19)

元和五年三月十七日(1619/5/1)

寛文二年九月十九日(1662/10/30)

の地震となる。既刊地震史料集によって知られる地震もあるが、元久二年・永禄十二年地震は新規事例であり、天文十三年・文禄元年正月・寛文二年地震は被害地震となる。天文十三年地震は、肥後八代『八代日記』にも記載があり、肥後・大隅・薩摩と南九州で感知された地震といえる。このように、九州に伝わる年代記(たとえば、肥後『相良家年代記』)などで、地震記録が残されている場合もあり、地震の有感範囲が広域の可能性も考えられるようになる。

また、既知の地震ではあるが、明応七年八月二十八日地震を「大地震」と記すのは、管見の限り『帝皇年代記』のみである。同年六月十一日地震についても、被害は記されていないが、地震動はあった可能性が指摘できる。

§4. おわりに

年代記はともすれば同時代史料でないという点で、その信憑性に疑問が付されがちである。しかし、年代記の集積と、先行する、もしくは中央の年代記との比較により、地域の地震事例を得られることができた。地震データの収集において、特に情報源の限られる近世初期以前の地方の有益な史料になり、またその集積によって得られる情報は、精査が必要とはなるが、地震評価を改めうるものとなる可能性を指摘したい。